

# 社会福祉 あきた

2010 1.31

No. **312**

主な記事

特集

自殺を減らし予防するためには  
何をすべきか

2

福祉サービスの質の向上を目指す  
取り組み

4

お知らせ

5

皆様の善意

6

第1回「福祉の就職総合フェア2009」  
結果・分析

7



【写真】「スポーツレクリエーション」 桜田 星宏 氏  
障がいのある方々が集い、スポーツレクリエーションが  
行われました。楽しい雰囲気の中、支援スタッフと一緒に  
ゴールに届くことができました。  
ゴールテープが近づき、頭を下げた一瞬でした。

つれあいネットワーク

社会福祉  
法人 **秋田県社会福祉協議会**  
<http://www.akitakenshakyo.or.jp>

# 自殺を減らし予防するためには 何をすべきか

秋田大学大学院医学系研究科長・医学部長 本橋 豊氏

自殺を減らすためには  
どうしたらよいのか？

社会経済情勢が厳しさを増す中で、自殺者が日本全体でなかなか減ってきません。社会経済情勢は自殺と密接に関連することが知られているので、このような現象は予想されたことです。経済的に追いつめられた方、多重債務で苦しむ方、うつ病などの病気で周囲からの支援が得られない方、職を失い生活不安がある方など、社会的に追いつめられた方々が生きるための支援に到達しないで死に至っているのではないかと本当に危惧されます。自殺を減らすためにはどうしたらよいのか？この問いに

対する答えの第一は、まず私たちの社会が、生活に困ったり悩みを抱えた方々を支援できるようにする仕組みを充実させ、生きる術がこの世の中には確実にあるのだということを知ってもらうようにすることだと思います。

## 最近の動き

昨年の12月4日にNHKの「日本のこれから」という討論番組に出演させていただきました。自殺者が年間3万人を超えるこの日本の社会をどう変えていったらよいのかについて、多くの方々と討論することができました。この番組

は生放送ですので、どういう議論が交わされ、どういう結論になるのかは当初はわからなかったのですが、番組が終わってみると、自殺対策の現場の方々からの切実な声を受けて、私たちの社会が抱えるさまざまな制度的な問題や人々の対応について問題点を明らかにし、今後の対策につなげていくためのテーマを語れたのではないかと思います。この番組には内閣府で自殺対策を担当する責任者である福島みずほ大臣も出演されて、国の立場でしっかりと社会対策としての自殺対策を推進していきたいということを発言されました。

## 国における 取り組み

平成18年に自殺対策基本法が施行され、平成19年には自殺総合対策大綱が策定され、日本の自殺対策推進の枠組みが明確にされました。これらの枠組みにもとづいて、国はさまざまな議論を行い、対策を進めてきました。一昨年のリーマンブラザーズショック以来の経済的打撃は、日本の自殺対策にも大きな影響を及ぼしました。昨年11月には、内閣府に自殺対策緊急戦略チームが立ち上がりました。この戦略チームは内閣府の自殺対策担当の政務三役（大臣、副大臣、政務官）と有識者2名（内閣府本府参与）とで構成されています。その使命は、厳しい雇用情勢が続く中で平成22年3月までの自殺者数が増加するのを防ぐことです。緊急戦略チームは昨年11月28日に「自殺対策100日プラン」を策定し公表しました。この中で、具体的対策として、自殺が増加する



3月を自殺対策強化月間にするこ  
と、100日間で実施すべき4つ  
の緊急的対策、中期的な視点に立  
った施策を提案しています。

4つの緊急的対策とは、

- (1) 自殺実態（地域別・時  
期別、危機経路別）に  
基づいた対策の立案
- (2) 失業者や経営者等のハ  
イリスク群を対象とし  
た総合的支援
- (3) 自殺多発地（ハイリス  
ク地）を拠点にした総  
合的支援
- (4) 支援策を最大限活用す  
るためのツール開発

です。それぞれについてここでは  
詳細には述べませんが、社会的に  
困難を抱えた人々に対する生きる  
ための適切な支援を提供するとい  
うことです。この緊急対策の一環  
として、ハローワークを会場にし  
たワンストップサービスの相談窓

口の開設が決められました。多重  
債務や失業や倒産といった社会的  
困難を抱えた人はうつ状態に陥  
っている可能性が高いことから、  
総合相談の窓口の中に「心の健康  
相談」の窓口を必ず置いて、医学  
的観点からも自殺予防に役立てる  
というのがその趣旨です。

### 秋田県における 取り組み

秋田県では平成21年10月に県庁  
内に自殺予防対策推進会議を設置  
し、議長である知事自らが自殺対  
策の陣頭指揮を執るという体制を  
構築しました。この会議では秋田  
県内においてもワンストップ対応  
として総合相談窓口を開設し、定  
期的に窓口の運用を行うというこ  
とを決めました。国の対策と連動  
して、秋田県は素早く先進的取り  
組みを始めたこととなります。ま  
た、平成22年度3月には睡眠をキ  
ーワードにした「心のキャンペー

ン」の実施を企画しています。

### 福祉の立場から 何ができるか

以上、国及び秋田県の最新の自  
殺対策の動向について情報提供い  
たしました。最後に福祉の立場か  
ら何ができるかについて簡単に触  
れたいと思います。社会格差の拡  
大と雇用不安が叫ばれる昨今  
の状況の中で生きるための最  
後のセーフティネットとして

の社会福祉の役割が注目され  
ています。憲法25条で保障さ  
れているはずの生存権が真に  
最後のセーフティネットとし  
て機能しているのが議論さ  
れる必要があります。社会的  
に追い込まれた方が様々な支  
援の声を挙げたときに、地域  
のさまざまな福祉資源がこれ  
をうまく吸い上げて、支援の  
制度や窓口につなげられるよ  
うにしなければなりません。

現場において、このようなあるべ  
き支援の仕組みがうまく機能して  
いなければ自殺者数は減ってい  
かないと思います。今こそ、生きる  
ための支援のネットワークに問題  
を抱えた方々がうまくつながって  
いくような仕組みの強化が求めら  
れているのです。現場の声を聞き、  
現場の活動に活かすことが大切で  
す。社会福祉の現場で活躍されて  
いる皆さんの頑張りを一層期待し  
たいと思います。



秋田県福祉  
サービス  
第三者評価  
推進委員会

# 福祉サービスの 質の向上を目指す 取り組み



福祉サービスの質の向上を図るため、社会福祉法78条に「社会福祉事業経営者は自ら福祉サービスの質の評価を行う。国は福祉サービスの質の公正かつ適切な評価の実施に資するための措置を講ずる」ことが規定されています。

本県では、平成18年4月から「秋田県福祉サービス第三者評価推進委員会」を設置し、調査者の養成、第三者評価機関の認証、評価基準項目の策定など第三者評価の体制整備に努めているところであります。

また、県内では「NPO法人インクルージョン秋田第三者評価研究会」「社会福祉法人秋田県社会福祉協議会」「NPO法人秋田県福祉施設士会」が第三者評価機関に認証されており、これまでに保育所4件、乳児院1件、障害施設1件が第三者評価を受審されています。

今回は、評価を受審された法人からの声をご紹介します。

## 「保育サービスの 質の向上」を目指して

社会福祉法人 雄仁会  
理事長 上村 清一氏

当法人施設では既に平成14年度より「福祉サービス第三者評価」を2度受審し、「自己評価」も毎年実施しており、常に改善に取り組んできております。これまでの受審評価結果から十分な評価を受けられなかった項目については、当然のごとく改善に努め、高い評価を受けた項目についても、「自己評価」において改善の必要性を見出した場合は、その改善に努めてきております。したがって、52項目から89項目に評価項目が増加したことに関しても、特段新たに取組むべき課題はなく、問題なく受審に臨むことができたと考えております。



この度の受審においても、一部項目において考え方の相違がありましたが、概ね当法人施設の「自己評価」が「第三者評価」よりも厳しい評価となっており、そのことは、高い評価を受けた項目についても満足せず、更に具体的な高い目標を持って「自己評価」を行い「保育の質」の向上に取り組んできたことの現れと自負しているところであります。

「保育の質」を客観的に評価するのは、当事者である施設や保護者ではないと考えております。もちろん保護者の満足を得られない「保育」は認められませんし、

「自己評価」ができない施設であっても困ります。したがって、保護者アンケートを踏まえた上で、あくまで利害関係のない「第三者」の評価こそが客観的な評価と位置づけられるべきと考えております。「井の中の蛙」的な自己満足の世界では「保育の質」の向上は期待できないと考えているからです。当法人ではこれまでどおり「自己評価」と「第三者評価」を道標とし、高い評価をいただいた項目についても、更なる肉付けを行い、自ら厳しい目で「自己評価」を行い、「保育の質」の向上に努めていきたいと考えております。





福祉巡回車両として、スズキ アルトが贈呈されました。

## 秋田県生命保険協会が「福祉巡回車」及び「ふれあい福祉募金」を贈呈

秋田県生命保険協会（原安伸会長）から、社会貢献活動の一環として、次の団体・施設に軽自動車及び福祉募金を贈呈いただきました。

「福祉巡回車両」

・能代市社会福祉協議会

「ふれあい福祉募金」

・秋田はまなす共同作業所

・地域活動支援センター青垣

・特定非営利活動法人よつば

## 秋田県立盲学校に

平成22年度

高等部専攻科として

「生活情報科」が

新設されます

秋田県立盲学校では、一人一人の様々な見え方に応じた支援をしています。

このたび新設される生活情報科では、中途視覚障害者などへの日常生活及び社会生活自立に向けた実践的な学習（生活技術の習得）を行います。また、個々の課題に応じて、視能訓練士や歩行指導員といった専門職員による支援も行います。学習期間は1年間ですが、継続学習を2年まで延長することができます。

心配なことや、具体的なことについては、ご相談ください！

お問い合わせ

秋田県立盲学校

秋田市土崎港三丁目2-72

☎018-846-2540

<http://www.mou-s.akita-c.ed.jp/>

※校舎は、平成22年4月より

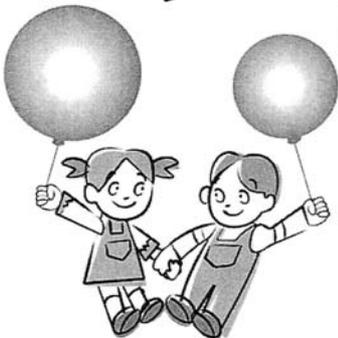
秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢地内南が丘ニュータウンの

「秋田県子ども総合支援エリア（仮称）」に移転します。

安心を支えます

# ボランティア活動保険

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償事故を補償



### 特長

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償
- 地震等天災によるケガも補償(天災タイプ加入の場合)

### ボランティア行商用保険

地域福祉活動の一環として行うボランティアに関する行事におけるケガや賠償事故を補償！

### 福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャー等の活動中のケガや賠償事故を補償！

### 送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故等によるケガを補償！

保険料(掛金) | Aプラン...260円 Bプラン...420円 Cプラン...590円  
天災危険補償タイプもあります。

※各プランの保険金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご覧ください。

お申込み、ご照会は、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人  
**全国社会福祉協議会**  
団体契約者

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

<http://www.fukushihoken.co.jp>

〈引受幹事保険会社〉日本興亜損害保険株式会社

# 皆様の善意

〔平成21年10月～12月末〕

## ◎金銭預託◎

- ・goodライフフエア2009  
主催店一同(タップロス・オノプロ  
ックス・高重商店・南秋ガス・テ  
ラセキ・いいつか・山二・前田商  
店・マルナカ燃料) 様
- ・合同会社 Dream Gate 様  
207、900円
- ・NTT秋田グループ  
30、000円
- ・NTT秋田グループ  
関係社員一同 様  
(チャリテイバザー売上金)
- ・秋田県大衆音楽協会 様  
161、950円
- ・陸上自衛隊 秋田駐屯地曹友会様  
10、000円
- ・株式会社第一会館 様  
60、262円
- ・富国生命保険相互会社 様  
12、600円
- ・そごう・西武労働組合秋田支部様  
100、577円
- ・秋田県火災共済協同組合 様  
8、318円
- ・秋田魁新報由利本荘ブロック  
60、210円
- ・販売店主・従業員一同 様  
23、911円
- ・秋田県卓球協会チャリテイラージ  
ポール卓球大会参加者一同 様  
162、000円

## ◎香典返し◎

- ・匿名 3、000円
- ・嶋貫 しげ子 様  
300、000円

- ・碓谷 公範 様  
100、000円

- ・佐藤 英人 様  
25、000円

## ◎物品預託◎

- ・秋田市個人タクシー協同組合 様  
車椅子5台
- ・株式会社 秋田放送 様  
点字カレンダ―190部
- ・秋田県遊技業協同組合 様  
車椅子12台
- ・青少年音楽の家運営委員会 様  
ハイドン没後2000年記念演奏会  
テレジア・ミサ招待券 101枚
- ・秋田県メグミルク会 様  
車椅子3台
- ・瀬下ワールドファミリー会 様  
業務用掃除機3台
- ・秋田県写真協会 様  
クリスマスケーク51個

## ◆金銭配分◆

- ・秋田県共同募金会へ  
(歳末助け合い募金)
- 23、911円
- 162、000円

## ◆各種大会等への助成◆

- 09であいのこんさあと

- ・第44回児童養護施設  
「中学三年生の集い」
- ・第8回秋田県サウンドテーブルテ  
ニス選手権大会

## ◆物品配分◆

- ・車椅子17台を秋田県内の老人福祉  
施設及び知的障害者施設へ
- ・点字カレンダ―を3カ所の視覚障  
害者施設及び団体へ
- ・演奏会招待券101枚を県内10カ  
所の社会福祉施設へ
- ・業務用掃除機を市内3カ所の母子  
生活支援施設へ
- ・クリスマスケーク51個を県内14カ  
所の社会福祉施設へ

## ●善意の募集について

県民の皆様、各企業・各種団体様  
からの社会福祉への御寄附をお待ち  
しております。

## ◎使途・希望について◎

主に地域における社会福祉活動や  
障害者、ボランティア団体活動など  
社会福祉一般において活用する「一  
般寄附」と、寄附者が使途を特定す  
る「指定寄附」があります。詳しく  
はお問い合わせください。

## ●問い合わせ先●●

秋田県社会福祉協議会総務企画部

秋田市旭北栄町一―五

☎018-8664-2711



COROLLA  
**AXIO**  
期待どおりの安定感に  
心が落ち着くカラーアクシオ。

## PASSO

助手席リフトアップシート車  
助手席リフトアップシート&  
手動車いす用収納装置(電動式)



豊富なバリエーションで皆様のご要望にお応えいたします!!

## トヨタカローラ秋田株式会社

秋田市寺内字神屋敷 295-37 ☎018-880-1500

カローラ秋田ホームページは [トヨタカローラ秋田](#)

## 「がん」は治す時代へ。

アフラックの「がん保険」は もっとあなたを応援します!



募集代理店 **ナカイ株式会社 秋田支店**

〒010-0914 秋田市保戸野千代田町6-8 千代田ビル1F  
TEL.018-866-1761(代) FAX.018-866-1762

お客様 **☎ 0120-712-816**  
相談窓口へ フリーコール

# 第1回「福祉の就職総合フェア2009」

## 結果・分析

「福祉の就職総合フェア2009」を、9月9日（水）に秋田ビュートホテルにて開催いたしました。

一般企業における新規学卒者の採用時期の早期化を受け、本会でも、昨年度から総合フェアの開催時期を早めて来ましたが、今年度はさらに1カ月早めて9月の開催とし、開催回数も年2回に増やすなど、求人・求職の動向を注視しながら取り組んでおります。

今回の参加事業所数はこれまでで最も多い43事業所となり、具体的な採用条件を示しての参加も増えてきました。

また、本会の就労コーディネーターが昨年6月以降に県内の福祉・介護事業所を訪問した中でも、積極的に参加の意向を示す事業所が増えてきています。フェアを初めて開催した平成13年度から9年が経ち、着実に参加事業所が増え、事業所における総合フェアの周知、定着化が進んでいるものと推察できます。



そのような中、今回の求人総数は250人に上り、求人職種別内訳を見ると、介護職員が144人で57.6%、次いで看護職員の48人で19.2%でした。今年度の求人内容の特徴としては、介護職員の求人が大幅に増加しているこ

福祉の就職総合フェア2009in秋田 参加事業所数・求人数

単位：事業所、人

区分 職種別	21年度 事業所数 求人数	比率 (%)	21年度施設種別				21年度雇用形態			20年度 事業所数 求人数	20年度・21年度 比較増減 事業所数 求人数
			法人本部	老人福祉	障害福祉	児童福祉	正規職員	常勤 (正職員以外)	非常勤・パート		
参加事業所数	43		18	18	3				41	2	
職種別求人数	250	100%	150	97	3		152	65	33	234	16
介護職員	144	57.6%	84	60			100	33	11	119	25
生活相談員	7	2.8%	3	4			2	5		6	1
支援員・指導員	6	2.4%	4		2			6		9	-3
児童指導員	0									1	-1
保育士	1	0.4%	1					1		3	-2
介護支援専門員	4	1.6%	1	3			2	2		14	-10
サービス提供責任者	3	1.2%	2	1			2	1		0	3
訪問介護員	10	4.0%	5	5					10	20	-10
理学療法士・作業療法士	8	3.2%	5	3			6	2		8	0
看護職員	48	19.2%	29	19			23	13	12	53	-5
調理員	2	0.8%	2				2			0	2
事務員	3	1.2%	2		1		2	1		1	2
栄養士	2	0.8%	1	1			2				2
支援員兼介護員	11	4.4%	11				11				11
相談員兼介護員	1	0.4%		1				1			1

※ 法人本部とは、複数施設経営をしている母体であり、現状では配属先施設種別が未定の状態にあるものを示す。  
 ○21年度の事業所数・求人数は、43事業所250人で、20年度を2事業所上回り、求人数では16名上回っている。  
 ○事業所のうち、採用予定人数を未定としたところが2事業所（特別養護老人ホームあやめ苑、知的障害者更生施設大曲仙北広域角間川更生園）あり、職種別求人数には反映されていない。  
 ○雇用形態別では、求人の約61%が正規雇用であり、昨年の47%を大幅に上回っている。  
 ○新規立ち上げに伴う求人は62名であり、求人数全体の約25%をしめている。内訳は、特定医療法人仁政会で建設中のショートステイで10名、有限会社恵の里で開所予定のショートステイ飯島（仮称）で17名、社会福祉法人はまなす会で事業開始予定の特定施設入居者生活介護ぬくもり（仮称）及び小規模多能ホームはまなす（仮称）で35名。



会場全体の様子。過去最多の43事業所が集まったほか、職能団体等の職業相談コーナーも設置されました。

とです。その原因として、事業所の新規立ち上げに伴って一度に多くの介護職員の求人をしていく事業所が複数あったことがあげられます。各職種の中でも介護職員の募集割合が大きいことは、ホームヘルパー2級講習を修了し、施設での介護職を希望する方にとっては喜ばしい状況です。

また、もうひとつの特徴として、採用予定時期を平成22年4月採用の新規学卒者としている求人が全体の43%を占めており、特



希望の職場を目指す求職者、今後の施設の担い手を探し、育てる事業所人事担当者、双方の眼は真剣です。

にその中で介護職の求人が約7割を占めていることから、介護職の求人に関しては、事業所が次

年度の採用を早期に取組む動きにあることがわかります。なお、看護師や理学療法士・作業療法士等はフェア全体の求人に占める割合では約2割となっておりませんが、年間を通じて本会へ常に求人のある職種でもあり、人材の確保が難しい職種であるといえます。

また、求職者の参加状況について見た場合、参加者数は



フレッシュワークAKITAの協力のもと行われた「職業適性診断コーナー」の様子。パソコン画面を食い入るように覗き込みながら、自分の適性を探します。

平成19年度に一時200人を切る状況にありましたが、20年度には222人となり、今年度（第1回目）のフェアでは304人と大幅に増加しています。求職者の内訳を、当日の就職相談の内容等からみると、長引く不況の影響からか、他分野から福祉・介護職場への転職希望者もみられ、ホームヘルパー2級の資格等を取った福祉分野未経験の求職者等の参加が前年度に比べて約30人増加しております。また新規学卒者の参加は年々増加の一途をたどり、県内の福祉

系養成校等の当フェアへの関心の高さが伺われます。

今年度第2回目となる就職総合フェアを、平成22年2月17日（水）に開催いたします。新年度に向けた最後のフェアであります。事業所の皆様には、正式な面接試験・採用試験を行う前に、求職者と直接面談をし、その人柄を感じ取る機会として、またより良い人材の確保の場として是非、今後とも「福祉の就職総合フェア」をご活用ください。

## 問い合わせ先

秋田県社会福祉協議会  
地域福祉部  
福祉保健人材・研修担当  
☎018-864-2880